

地域の「活性化」と大きく矛盾

小・中学校統廃合の対象校

(「再編」原案；赤文字が対象校)

※水橋小・中(※①)と八尾中学校(※②)は地域の合意済。

地域	小学校	中学校
富山中央	芝園、中央、西田地方 光陽、柳町、奥田北、 奥田、堀川	芝園、堀川、 南部、奥田、 大泉
富山北部	浜黒崎、岩瀬、萩浦、 大広田、針原、豊田	北部、岩瀬
和合	四方、八幡、草島、倉垣	和合
呉羽	呉羽、長岡、寒江、古沢、 老田、池多	呉羽
富山西部	桜谷、五福、神明	西部
富山南部	堀川南、蛭川、新保、 熊野、月岡	月岡、興南
富山東部	東部、山室、山室中部、 太田、広田、新庄、 新庄北、藤ノ木	東部、新庄、 山室、 藤ノ木
水橋 ※①	水橋中部、水橋西部、 水橋東部、三郷、上条	水橋、三成
大沢野	大沢野、大久保、船峠	大沢野
大山	上滝、大庄、福沢、小見	上滝
八尾	八尾、杉原、保内、櫻尾	※②八尾、杉原
婦中	速星、鶴坂、朝日、宮野、 古里、音川、神保	速星、城山
山田	山田	山田
細入	神通碧	榆原
14 地域 生活圈	再編対象校 …30校/65校	5校/26校 (水橋・八尾含む)

(富山市教育委員会資料より市議会日本共産党が作成)

赤星・吉田市議「小規模校こそ残せ」



赤星ゆかり議員(12/9本会議)



吉田おさむ議員(12/7本会議)

「最終答申」までに、審議会として対象地域の意見・要望を聴くべきと求めましたが、市教委は、「地域に適合した学校を存続させるべき」と述べて、一切質問を受けませんでした。市長は、「地域の要望は受けとめている。今の段階で見解を言うのは適切ではない」と明言を避けました。

聴く姿勢が大事 呉羽地区連合自治振興会主催の「出前説明会」(11月13日)では、市教委の担当者が「審議会で審議中であり、意見表明や質問にはお答えできない」と述べ、一切質問を受けませんでした。

吉田市議は、「再編」原案について、「適正規模」(小学校は1学年2クラス以上)にするための機械的な「あてはめ」にすぎないと指摘。「効率化よりも、一人ひとりを大切にしたい」と述べ、

切にした教育ができる環境を。小さな学校こそ残してほしいとのパブリックコメントに寄せられた教員OBの声を紹介し、小規模がゆえに、できることもたくさんあるのではないか、と問いかけました。

一般質問で

地域住民の声を受けとめ 山田・細入の学校存続を



吉田議員の

12月定例会で、小・中学校の統廃合問題が大きなたマになりました。吉田おさむ市議と赤星ゆかり市議が一般質問と委員会で取り上げ、地域の「活性化」と大きく矛盾する「統廃合案」を厳しく批判しました。現在、「通学地域審議会」で「再編」原案を審議中で、2月に最終答申する予定です。

554件 パブリックコメント 「再編」原案に反対90%

市教委は「再編」原案について市民の意見を聞くパブリックコメントを実施(11/15～12/15)しました。554件の声が寄せられ、原案に反対が89.7%、賛成は4.6%でした。(集計は日本共産党会派)

- 婦中・朝日小学校は小規模特認校としてH29年4月40人から現在60人(地区外15人)、R4年度は70人になる予定。…小規模特認校を残してほしい。
- 学校が無くなることは信じがたい。長きにわたって築いてきた地域の生活、文化、歴史の根拠をなす学校が無くなることは死活問題。合併前の活気は無い。地域の笑顔を戻し、後世に山田を残したい。
- 1時間半もかけて通学。子育て世代や若者が村を去ることにならないか。人の営みに対して、経費削減だけでいいか。再考を。
- 数合わせで再編するのは反対。細入の小・中学校は、ユネスコスクールなど特色があり成果もあげている。存続を。
- 学校再編だけを議論するのではなく、地域の活性化のための目標や計画を立てることが必要だ。
- もっと地域住民に説明を尽くし、意見を聞いて決めてほしい。
- (細入から)学校を無くすることは、地域をつぶすこと。文化、歴史、つながりをなくすこと。住んでいる近くに学校があることで地域の特性を活かした学びができる。
- 子どもたちの元気な姿を見ることで地域は活性化する。学校統合によって地域が衰退することは明らか。
- (大沢野・船峠小は)発達障害児専門のクラスを併設している。ぜひ存続を願う。
- 郡部出身の市長には、頑張って小規模校の存続に尽力してほしい。

※「声」の主旨のみの紹介で、文章表現は変えさせていただきました。

総務文教委員会



小規模校が世界の流れ 全学年1学級、生徒数100人程度

赤星ゆかり市議は総務文教委員会で、市教委が小・中学校再編の根拠としている学校の「適正規模(1学年12～18学級)」について、根拠が薄いと指摘しました。文科省「手引」でも「弾力的なもの」とこの点に留意を要している。市教委は、審議会として対象地域の意見・要望を聴くべきと求めましたが、市教委は、「地域に適合した学校を存続させるべき」と述べて、一切質問を受けませんでした。

つまり、「標準規模」は教育上効果の根拠でもなく、しかも絶対的なものでもないことがわかります。「学校規模」も「学級規模」も大きい日本の小学校「ユネスコ文化統計年鑑1999」によれば、外国の学校規模(初等教育)は100～200人程度で1学年1学級、クラス替えなしが一般的です。

法令では学校を統合する場合に学校の規模を「12～18学級」とすれば、国が校舎や体育館の建築費の2分の1を負担するというものであって、文科省発行の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」(H27年1月)「(一)学校規模の適正化」検討の際に考慮すべき観点」の冒頭に、次のように書かれてあります。

2020年3月13日富山新聞より
南砺市教育長 松本謙一さん 「学校の規模」に関して
「1クラス20人ぐらい、全部で100人ぐらいが一番いい、すべての先生が子ども全員を分かる。校区も広くなる。地域と一体化した人間味あふれる教育になる。世界の教育者も同じことを言っている。」

1クラス20人ぐらい
全部で100人ぐらいがいい

移転先の見通し、立たず

吉田市議 「天体観察室」設置を求める



←天文台廃止を告げる看板

9月定例会の一般質問(9月13日)で吉田おさむ市議は、池多地区・三熊の市天文台について取り上げました。

市は2018年12月に「天体観察室」プラネタリウム更新基本計画」を策定し「まちなか」への移転の方向を打ち出しましたが、その時点で地元には「基本計画」を何ら説明していません。

池多地区自治振興会等には、昨年3月定例会の開会数日前になって初めて訪れ、「廃止するので了解を」という「通告」

2010年の導入からこれまで、自転車及びステーション、広告パネル増設などハード面の補助金が計約2億7千万円、広告料などに1億6300万円、合わせて4億3千万円を超え、この他に市民文化事業団が支払っている広告料も9年間で1億1200万円にもなっている

2010年の導入からこれまで、自転車及びステーション、広告パネル増設などハード面の補助金が計約2億7千万円、広告料などに1億6300万円、合わせて4億3千万円を超え、この他に市民文化事業団が支払っている広告料も9年間で1億1200万円にもなっている

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

雪で使えない時も24時間電気を消費(年間約8万7千円)一般家庭20軒分程度の電気を消費(44・3トンのCO₂排出に相当)



「雪で使えない時も24時間電気を消費(年間約8万7千円)一般家庭20軒分程度の電気を消費(44・3トンのCO₂排出に相当) 9・14分。

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

「雪で使えない時も24時間電気を消費(年間約8万7千円)一般家庭20軒分程度の電気を消費(44・3トンのCO₂排出に相当) 9・14分。

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

「雪で使えない時も24時間電気を消費(年間約8万7千円)一般家庭20軒分程度の電気を消費(44・3トンのCO₂排出に相当) 9・14分。

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

「雪で使えない時も24時間電気を消費(年間約8万7千円)一般家庭20軒分程度の電気を消費(44・3トンのCO₂排出に相当) 9・14分。

赤星市議が提起

市議団、11/29 緊急申し入れ

「福祉灯油」が実現

住民税非課税世帯等に5,000円



高値が続く灯油やガソリン (2022.1.15撮影)

赤星市議は、「原油高騰により食糧品や様々な物資が値上がりし市民生活が圧迫されている」として、所得の低い世帯に灯油購入費の補助を行うことを求めました。福祉保健部長が

「早急に検討する」と答弁し、12月補正予算で実現しました。これに先立つ11月29日、日本共産党は、所得の少ない世帯や生活保護世帯などに対して一

くても5千円)の灯油購入費補助を行うよう「福祉灯油」の緊急申し入れ、「市民が主人公の富山市政をつくる会」も11月30日、来年度予算要望のなかで、生活困窮者に光熱費や防寒用品などの助成を行うことを求めています。

赤星議員の



北代「縄文館」の空調

3年修繕へ

長岡地区にある「北代縄文館」のエアコン設備が3年間も故障のままになっています。令和2年6月定例会で補正予算(約260万円)が可決されましたが国の補助金がかさず未執行に。吉田市議は赤星市議とともに現地を訪問し、必要性を確認しました。

池多地区への説明

「配慮に欠ける」

9月定例会の一般質問(9月13日)で吉田おさむ市議は、池多地区・三熊の市天文台について取り上げました。

「十分説明した」と答弁。吉田市議は「あまりにも配慮に欠けた対応」と批判。周辺部軽視と言わざるを得ないと指摘しました。

市教委は移転先について、城址公園か城南公園を考えているが、現時点で場所も、時期もまったく決まっていらないと答弁しました。

市教委は、令和4年の夏までには修繕する手立てを講じたいと前向きな答弁をしました。



「青い自転車」への「アゲイル」市1.6億 市長文化費1.1億 広告料など見直しを

2010年の導入からこれまで、自転車及びステーション、広告パネル増設などハード面の補助金が計約2億7千万円、広告料などに1億6300万円、合わせて4億3千万円を超え、この他に市民文化事業団が支払っている広告料も9年間で1億1200万円にもなっている

「雪で使えない時も24時間電気を消費(年間約8万7千円)一般家庭20軒分程度の電気を消費(44・3トンのCO₂排出に相当) 9・14分。

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

赤星市議は9月議会一般質問で、「費用対効果」が疑問すぎる。最小の経費で最大の効果

第2次

「総合計画・後期基本計画」

吉田市議は、「第2期総合計画・前期基本計画案」に対して、反対討論をしました。

吉田市議は、「第2期総合計画・前期基本計画案」に対して、反対討論をしました。

吉田市議は、「第2期総合計画・前期基本計画案」に対して、反対討論をしました。

2022年度予算要望

気候変動、学校再編「生理の貧困」対策など

富山市議会日本共産党は12月24日、2022年度富山市予算にあたっての市長への要望書を提出しました。190項目の要望のなかで、小・中学校「再編」問題、気候危機打開の市の取組み、小・中学校のトイレに生理用品常備などで意見交換しました。

身近な地域要望も要望書には、49項目の地域要望も含まれています。

今本副市長に手渡し、懇談 (12/24)